

広島大学

令和 7 年度一般選抜(前期日程)・
総合型選抜外国人留学生型 2 月実施

解答例又は出題の意図等

科目名：
小論文

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

令和7年度一般選抜（前期日程）：小論文

出題の意図

受験者は、提示された5つの資料を読んだ上で、独自の題を設定し、少なくとも3つ以上の資料に言及しながら、小論文を作成することが求められている。

5つの資料は、時間に関して、異なる観点から異なる対象について論じた書籍の一部である。しかし、これらの文章は時間とは何かを直接的に論じるというよりは、むしろ、私たちが持つ時間や時間感覚についての理解を再考させるようなものとなっている。キーワードになりそうなものとして、時間や時間感覚の相対性、非一様性、歴史性、複数性などがあげられる。資料の組み合わせによって、受験者は、上記のキーワードには包摂されないさまざまな論点を設定することも可能であろう。

出題者は、受験者が作成した小論文をめぐって、提示された資料を踏まえたものか、論理的に整合性はあるか、記述内容に独自性・創造性はあるか、正確な語彙と表現を用いて書かれているか、つけられた題は適切なものかについて評価する。換言すれば、読解力、論理的思考力、独創的発想力、表現力を総合的に評価する。なお、受験者は、上述の資料5つの内容通りに論を構成する必要はなく、資料から読み取れるものに基づく論を展開していれば十分に評価の対象となる。